

# ユニークな ワークショップ

釧路地域の保健医療福祉職が集まって活動している「CCL」(本音で地域連携のあり方を検討する会)は十二日、退院支援と地域連携をテーマに研修会

## 釧路・CCL

を開いた。三回目となる今回は、短時間で効果の高い解決方法を検討。今回は二十三年一月に「座談会」を開催。今回出された解決策を踏まえ「自分たちでできること」を話し合い、

# 短時間で高い効果の 課題解決方法を探る

具体的な活動につなげていく考えた。

CCLが研修会で実施しているワークショップはユニークだ。一



研修会でのワークショップの様子

## 今回は「自分たちでできること」検討へ

修会は課題を受けて①多職種との情報の共有②多職種との信頼関係づくり③多職種との目標の共有④多職種との役割分担⑤連携に関する業務における時間の確保のテーマを設定。解決方法を「個

ループが集まる者会議開催②顔見知りになる③入院中に皆でつに絞る、その解決方法で増えるもの・減るものを検討。最終的には同じテーマのグループがマのグループが一つになり解決方法を話し合った。こうした趣向を凝らして段階的に進める研修会、保健医療福祉職が顔の見える関係を築きながら実践やワークショップを取る。具体的な効果に「情報・知識・技術が増え、の声が出た。

①のテーマに分かれ、前回出された解決方法を参考にしながら、参加者は効果と実現までのスピードを考慮して解決方法を出し合い優先順位を付けた。その後、隣り合うグループが集まる者会議開催②顔見知りになる③入院中に皆でつに絞る、その解決方法で増えるもの・減るものを検討。最終的には同じテーマのグループがマのグループが一つになり解決方法を話し合った。こうした趣向を凝らして段階的に進める研修会、保健医療福祉職が顔の見える関係を築きながら実践やワークショップを取る。具体的な効果に「情報・知識・技術が増え、の声が出た。